

## 美術系学生の CV の書き方について

CV はおおむね「履歴書」ということになりますが、欧米では日本の履歴書のような決まった書式はとくにありません。学生でもそれぞれの用途に応じて各自が作成します。北米では *resumé* (レジュメ, フランス語で「要約」の意) と呼びますが, ヨーロッパでは「CV」という呼称が一般的です。美術系学生の皆さんはとくに, フォントやレイアウトなどビジュアルに留意し, 美しく見やすい CV を作成するように心がけましょう。

### ①ヘッダー部

#### 個人情報 Personal Information

近年では, 名前と連絡先(住所, 電話, メールアドレス, 持っていればウェブサイトの URL)のみを記載することが一般的です。国によって(とくに英語圏)顔写真は不要ですが(人種が判断できることによって起こりうる差別を防止するため), 大陸ヨーロッパでは写真を入れることが多いです。提出先の求めに応じて準備してください。

・名前: 京芸美子(キョウゲイヨシコ)さんの場合

Yoshiko KYOGEI もしくは KYOGEI, Yoshiko

ヨーロッパで使われることの多い表記形式ですが, 大文字にすると名字であることが確実に伝わります。また名字を先に書く場合は, カンマを入れます。パスポートと同じ綴りを使って下さい。アーティストネームがある方はその旨も記載してください。名前は最上部に, 大きくそれとわかるように記載しましょう。

・電話番号

電話番号には必ず国番号をつけます。日本の場合は+81 です。国際通話を想定し, 頭のゼロにかっこをつけておきます。

例: +81 (0)90-1234-5678

固定電話は Phone, 携帯電話は Mobile と書きます。

・住所

番地に続けて小さな行政区から順番に書くようにしてください。

〒123-4567 京都市西京区東町1丁目2-3だとすれば

1-2-3, Higashimachi, Nishikyo-Ku, Kyoto 123-4567, Japan

のように書いてください。「市」や「丁目」は省き, 「区」は訳さず日本語のまま大丈夫です

## ②学歴 Education

日本式とは逆に、最新の上から順に記載するのが一般的です。見やすく、読みやすいようにレイアウトも工夫してください。記載するのは高等教育(大学レベル)以上で結構ですが、美術系の高校を卒業した場合は含めても良いでしょう。大学以外でとくに特筆すべき師事や弟子入りなどの経験があれば、項目名を Education & Training とし、まとめて記載しても結構です。

## ③展覧会歴 Exhibitions

展示の経歴を書きます。通常は個展 solo exhibitions とグループ展 joint/group/collective exhibitions に分け、会期、展覧会名、展示場所および都市名を明記します。万が一何もないという場合でも、京芸の学生であれば制作展を含めるなど、展示歴が皆無ということになるべく避けましょう。逆に多数ある場合は selected とし、主な実績を抜粋します。

## ④コレクション歴 Collections

多数あれば公的な美術館などの public collection と個人蔵の private collection に分けて上から新しい順に記載します。

## ⑤受賞歴 Awards/Honors

展覧会、公募などで受賞歴があれば書きます。また、成績優秀者に授与される奨学金を得ていたらこちらに記載しても良いでしょう。

## ⑥その他の実績 Achievements

依頼を受けて作品を制作した、デザインが採用された、プロジェクトやワークショップに参加したなど、その他特筆すべき実績があれば、記載します。項目名は内容に応じて Commissions, Workshops, Entrepreneurial arrangements, Projects, Memberships などとしても良いです。

## ⑦出版物 Publications

作品集や文章の出版歴がある場合はこちらに記します。ただし展覧会カタログは含めません。

## ⑧講師歴 Teaching Experience

もし講師歴などがあれば記載しましょう。教員免許がある場合この項目に入れても良いでしょう。単発の講義の場合は Lectures などとして、講義のタイトルを明記するのも良いでしょう。

## ⑨その他

とくにデザイナーの場合は、ソフトウェア Software や IT スキル Technical skills という項目を設けて使用可能なソフトウェア(それぞれのレベルかを明記しても良いです)を記載するなど、関連のある自分の経歴や能力が一目で網羅される CV を目指しましょう。

#### ⑩使用言語 Languages

少しでも使える言語は書きましょう

Japanese – Native

Korean – Intermediate Writing & Speaking

などのように、謙遜せずに、少し大げさに書きたいの気持ちで記載しましょう。

(あくまで少しです。謙遜して能力を低めに書いて得をすることはありません。)

#### ⑪その他注意点

・選考にかかわるのはアーティストの先生ばかりではありません。奇をてらわず、シンプルで見やすく、情報が伝わりやすいレイアウトを心がけましょう。メインの文字は標準 10pt以上, 11pt程度を目安に。

アーティストの感覚を生かして美しくレイアウトしつつ、審査に付される書類として適切なフォントを選びましょう。欧米で一般的なもので十分です。これまでは Times New Roman や Arial が主流でしたが、近年ではこれらを古臭く感じる人もいます。一般的には Calibri, Helvetica, Gill sans などのサンセリフフォント、クラシックな印象のセリフフォントを選ぶのであれば、Garamond, Georgia, Dido あたりが無難です。日本版の Word を使用しているとデフォルトで欧文が Century で入力される場合がありますが、欧米人にはかなり稚拙な印象を与えます。アーティスト・国際人として、どのような場合も Century は避けることをおすすめします。

・枚数は A4 で最大 2 ページまで。研究者や大学教員を目指すケースを除き、一般的に長すぎる CV は逆効果です。

・記載する項目順は提出先によってその都度考えます。学生の間は学歴から並べて問題ありません。選考する側が CV に目を通すのは一瞬です。目立つ重要なものを先に、あまり見栄えのしない経歴は最後のほうに。例えば語学が得意でないのに、最初のほうに書いてしまうとネガティブな印象を持たれてしまいます。その場合は無理に記載しなくても結構です。また、作品制作に関係のない経歴はよほど好印象を与えることでない限り掲載する必要はありません。

・固有名詞は勝手に訳さずに英語の正式名称をネット検索などでさがしましょう。公募展名や学校名、奨学金名などに注意してください。

## 交換留学 志望動機書の書き方について

Motivation Letter もしくは Personal Statement など英語でも様々な呼称があります。

交換留学先の求める書類のタイトルを選びましょう。Motivation Letter (Letter of Motivation)は、何故あなたがこの機会を求めているのか、ということを中心に、Personal Statement (Statement of Purpose)は何故あなたが応募するプログラムなどにふさわしいのかを、それぞれ説明する文章です。

最上部(ヘッダー)は以下の形が一般的です。

---

Yoshiko KYOGEI

[yoshiko@personalmail.jp](mailto:yoshiko@personalmail.jp)

### Motivation Letter

Mr /Ms ○○○○,

(担当者がわからない場合は Dear Sir/Madam としても良いですが、なるべく担当者の名前をつきとめて名前を記載したほうが好印象です。) 名前と連絡先を右上に。連絡先は他の CV などに書いてあるので、メールアドレスで十分です。だいたい A4 一枚におさまるように、多くても二枚目の途中で終る程度にしましょう。

---

パラグラフは4つほど。

1<sup>st</sup> Paragraph: Introduction 英文の基本として、最初にこれから何を書くのかを宣言します。

例 自己紹介、このプログラムに応募することを伝える。

Middle Paragraphs: Body 以下順番は自由ですが、このプログラムの重要性を述べます。2-3 程度のパラグラフに内容をまとめてください。

① 何故このプログラムが自分に必要・重要なのか

→プログラムについてよく理解していることを前提に、教授や出身作家の作品・価値観に関心がある、専攻の伝統やトレンドに共感する、その場でしか学べないことなど。(その教授や専攻の強み、特色に触れるとなおよい)

② 何故このプログラムに自分がふさわしいのか

→自分のこれまでの経験や、強みを積極的にアピールする

何故他の人ではなくて自分なのかという視点で、どういう経験を活かすか、ある先生や講座等の経験から海外で学ぶことが必要と認められた、受賞歴などがあれば、その実力を

生かして現地の文化を制作に採り入れたい, など, この留学によって発展させることのできる実力や経験, 強みをもっていることを述べる。

- ③ このプログラムが自分にどのような影響を与えるのか(将来への見通し)

留学によって, 将来に向けどのような方向性を目指すのかを述べる。

- ④ 現地でしか出来ないことをアピール

学校の特色やその地に特有の文化など, そこでなければならぬ理由に触れましょう。

「ヨーロッパで伝統ある美術を学ぶ」「多様な文化に触れる」「現地で実際に生活する」などの一般論は不要です。行きたい学校や国にフォーカスし, そこでなければならぬことを述べましょう。

### Last Paragraphs: Conclusion

最後は, 読んでくれた人へのお礼と, 機会をもらえたら最大限に活用すること, その準備ができていていることなどを強調します。

※参考: 英作文におけるパラグラフの構造に注意しましょう:

Topic Sentence まずはメインピックを簡潔に説明する

Support Sentence トピックを広げていく文章。話題を広げたり, 理由を述べたりする。

Conclusion 最後に, トピックについて簡潔にまとめ, 言いたいことを言い切る。

・その他英文の基本ルール

**B (bold/ボールド)** 強調したいときに使います。

*I (Italic/イタリック)* 斜体。作品のタイトルや, 英語以外の外国語に対して使います。

例 Claude Monet, *Impression, soleil levant*

I use traditional Japanese materials such as *urushi* for my *kintsugi* technique.

全角を使わない

カンマ, ピリオドの後は半角スペースを空けます。

April 20, 2020

# Yoshiko KYOGEI

---

Address: 1, Oe Kutsukake-cho, Nishikyo-ku, Kyoto  
610-0000, Japan  
Phone: +81 (0)75-0123-4567

E-mail: [yoshiko@samplemail.jp](mailto:yoshiko@samplemail.jp)  
Website: <https://yoshiko-kyogei.com>  
Mobile: +81 (0)80-0123-4567

## EDUCATION

Apr. 2019 - current  
**Graduate School of Arts, Kyoto City University of Arts, Kyoto, Japan**  
Master's course in Sculpture

Apr. 2015- Mar. 2019  
**Faculty of Fine Arts, Kyoto City University of Arts, Kyoto, Japan**  
Bachelor of Fine Arts in Sculpture (Mar. 2019)

## EXHIBITIONS

**Solo Exhibitions**  
Feb. 2018, *My Art II*, Gallery A, Kyoto, Japan  
Oct. 2017, *My Art*, Gallery B, Tokyo, Japan

**Joint Exhibitions**  
Mar. 2019, Graduate Exhibition, KCUA, Kyoto, Japan  
Dec. 2018, *Japanese Young Artists*, Gallery C, London, UK

## AWARDS & GRANTS

**Mayor's Prize** Graduate Exhibition KCUA, 2019  
**ABC Foundation Scholarship Holder**, 2018-19  
**DEF Young Artist Grant** for GHI Project, 2017

## SOFTWARE

**Adobe Photoshop**  
Advanced  
**Adobe Illustrator**  
Advanced  
**Adobe InDesign**  
Intermediate

## QUALIFICATIONS

**Teacher's license** in fine arts, Mar. 2019  
**Training Certificate for Gas Welding** May 2018

## LANGUAGES

**Japanese:** Native  
**English:** Upper Intermediate  
TOEFL iBT Score 88

## OTHER ACTIVITIES

Volunteer: *Art Fest 2018*  
KCUA Student Board  
Member, 2017-19